

秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会 令和5年度第1回

－ 目 次 －

1. 秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくりシンポジウム
開催結果
2. ビジョン（たたき台）の地元説明会開催結果
3. ビジョンのブラッシュアップの方向性について
4. 令和5年度のスケジュールについて
5. エリアプラットフォーム組成について
6. 社会実験について

令和5年5月30日

秦野市はだの魅力づくり推進課

- ① **ビジョンのブラッシュアップの方向性**について
 - **ブラッシュアップの方向性に関する事項**
- ② **エリアプラットフォーム設立**について
 - **目的、活動内容に関する事項**
- ③ **社会実験**について
 - **事務局案（目的、実施内容等）に関する事項**

1. 秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくりシンポジウム 開催結果報告

(1) 開催概要

日時 令和5年3月26日(日) 10:00～12:30

場所 秦野市農業協同組合本町支所2階会議室

1. ゲスト講演

今井 裕久 氏 (伊豆の国市伊豆長岡温泉活性化アドバイザー)

内容

- ・なぜビジョンが必要なのか
- ・公民連携の取組み (エリアプラットフォームの構築)
- ・エリアプラットフォームの活動内容
- ・さまざまな力 (温泉、医療、産業、E-BIKE) を重ね合わせる戦略
- ・拠点形成、温泉、水の活用
- ・地域資源を生かす (温泉のある暮らし)



にぎわい創造の実践に向けたポイント

- ・各主体の個別の活動が、ビジョンを元に緩やかに同じ方向に向かうことで相乗効果が図れる。
- ・地域の拠り所(南山荘)の優先順位を高くした取組みで実現可能性を高める。
- ・役割分担を明確化することにより、着実に実施していく。
- ・「今」の取組みの先に未来がある。今できることをしっかり取り組む。

2. 秦野駅北口周辺まちづくりビジョン (たたき台) について

3. パネルディスカッション

今井裕久氏、岩崎教授 (東海大学)、山家教授 (神奈川大学)、上松担当課長 (秦野市はだの魅力づくり推進課)

2. ビジョン（たたき台）地元説明会 開催結果報告

（1）実施概要

実施日	団体名	参加人数	意見等
2月24日	駅前通り商店街	7名	- 県道705号の歩道整備について、インターロッキングだけでなく、ゴムチップの歩道も検討してみてもどうか。色が豊富でクッション性もあるため、印象も変わるし歩きやすいと思う。 - 交流拠点づくりを取組の中心にしてもらいたい。人が集まる拠点を作れば、人流も増えると思う。 （イベントや拠点づくりは）自分たちが楽しむだけだと、どうしても閉鎖的になる。外からも気軽に参加できる空気を作ること好循環が生まれるのだと思う。 - 秦野に移住した人の意見を聞くと良いと思う。移住してきた人の中には、パン屋を開業した方もいて、子育てを自然の中でしたいという思いから移住してきたそう。そういった自然環境や教育に敏感な人に好まれる土地なのかもしれない。 - 市営片町駐車場など、ある程度まとまった市の土地が駅前にあるのだから、市庁舎を移転してはどうか。人流の確保にもつながる。 - 空き店舗について、各商店会長はどこに空き店舗があるのかを把握しているので、市が聞き取りをしてリスト化してくれると、新たな事業者にとっては出店の検討材料になるはずだ。 - ビジョンの目標年次が20年後と設定されているが20年後には自分たちはもういない。若い人に聞いた方が良いのではないか。 - 県道拡幅が進むなか、もっと具体的な取組みはないか。 - 歩きやすいまちづくりが基本だと思うが、現状の歩道は、路面にレンガの溝や隆起等があり、歩きづらい。
2月26日	台町自治会	28名	
3月3日	本町地区自治会連合会	3名	
3月3日	本町上宿自治会	9名	
3月3日	花みずき通り商店会	7名	
3月22日	片町第一商店街	20名 ※ 資料配布	
4月1日	片町自治会	15名	
4月7日	上宿商栄会	20名 ※ 資料配布	
4月13日	東道自治会	18名	
4月21日	秦野市商店会連合会	20名	

3. ビジョンのブラッシュアップの方向性について

(1) 令和4年度第3回協議会を踏まえたビジョン等のブラッシュアップについて

ゾーン	意見	ブラッシュアップの方向性
県道705号沿い	- 仮設的なものや既存の建物を活用して恒久的なものを検討すると良い。 - 拠点があるだけではにぎわいは生まれない、商業機能など他の機能と合わせ、点を線にする必要がある。 - 秦野の名水を意識させるものがあると良い。 - 水に関わるランドスケープが実現できると良い。 - 県道705号を市道に移管することは可能か。 - 歩道は遮熱性や環境に配慮した仕上げも検討すべきだ。 - 安全性の確保が必要だ。	- 地元説明会でも交流拠点づくりが必要という声もあるため、恒久的なものを目標に、仮設的なものや既存の建物の活用による効果検証を行う。 - 拠点整備による近隣への効果（人流など）も検証する必要がある。 - 秦野名水についても、比較的簡易に設置可能なウォータースタンドの設置（アンケート調査を踏まえ設置）や、社会実験、また水無川の活用方法などを踏まえ、来訪者が名水に親しめるものを検討する。 - 歩道の仕上げに関するアンケートを実施するほか、社会実験に伴う道路占用をきかけとし、道路管理者である神奈川県と歩行空間の活用に関する意見交換を行う。

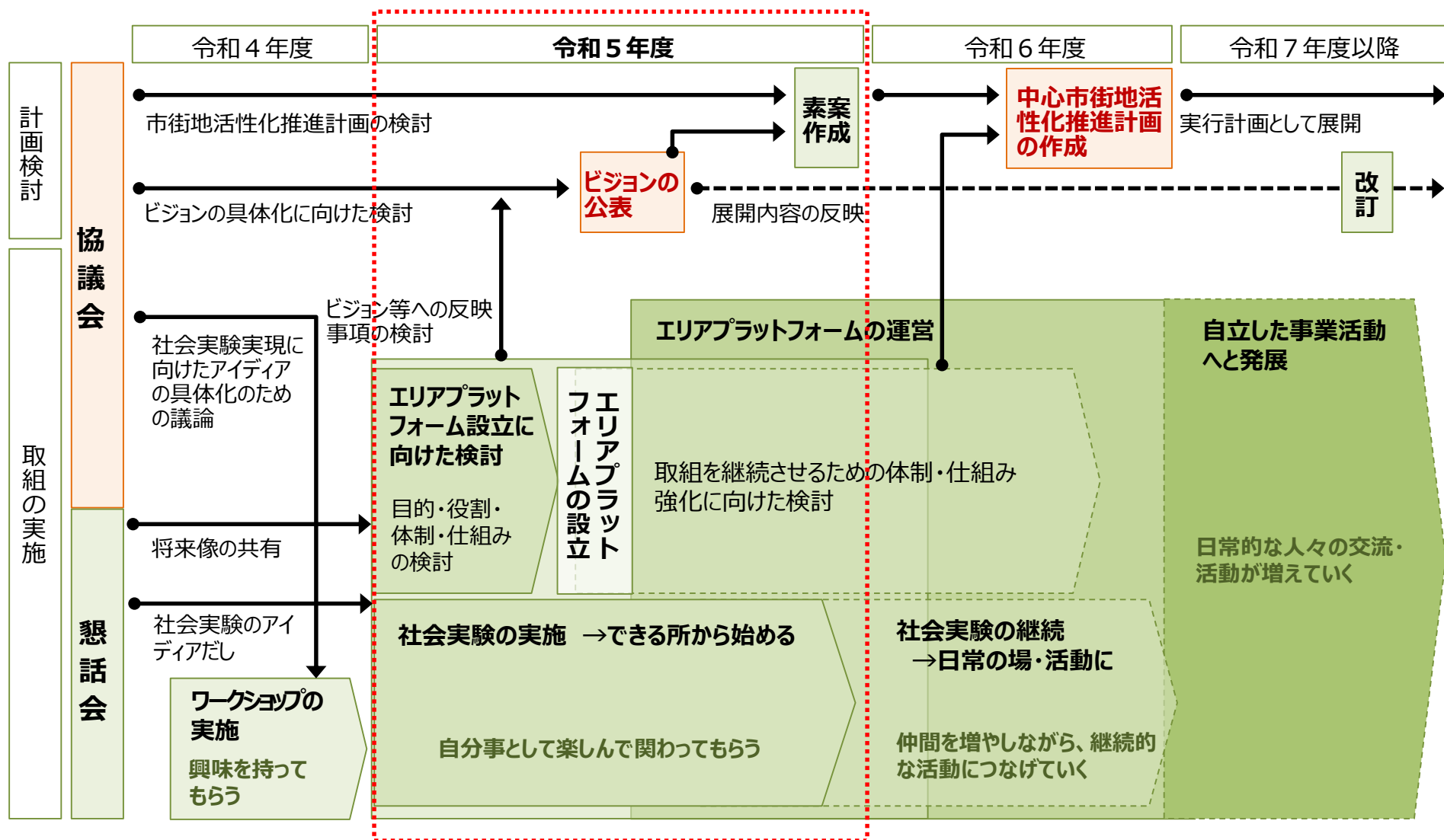
3. ビジョンのブラッシュアップの方向性について

(1) 令和4年度第3回協議会を踏まえたビジョン等のブラッシュアップについて

ゾーン	意見	ブラッシュアップの方向性
水無川沿い	(社会実験について) 過去の一方通行化の社会実験のデータを活用して取り組んでほしい。	過去の社会実験結果や現在の交通状況を踏まえた検証を行う。
県道704号沿い	歩道が狭いことが課題だ。	沿道のたまり場の創出による滞留スペースの確保を検討する。
片町通り・花みずき通り沿い	カフェなどゆったりできる場があると良い。	沿道を「開く」取組みにおいて、多様な出店ができる仕組みを検討する。
秦野駅周辺	まちの情報発信機能を集約することが必要だ。	来街者と住民に対し、必要な情報が発信できる環境整備を検討する。
生活道路	- 低未利用地が多いが、ポケットパークのようなものと狭い。 - 高齢者や親子が憩える場所が必要だ。	生活道路沿いのポケットパークが、誰のために必要か、どこに必要かなど、機能の役割について検討する。
将来像のキャッチコピーについて	- キーワードが多いが、キーワードとして入れるのであれば、ビジョンの中で具体的な内容を示すべきだ。 「まちなか暮らし」を強調するのであれば、居住施策を入れる必要がある。 「歩いて暮らす」「歩いて楽しい」という言葉が入ると良い。	地域の特色とビジョン作成における様々な意見、ビジョンの方向性を、再度見直し、それらをよりシンプルに体现する言葉とする。

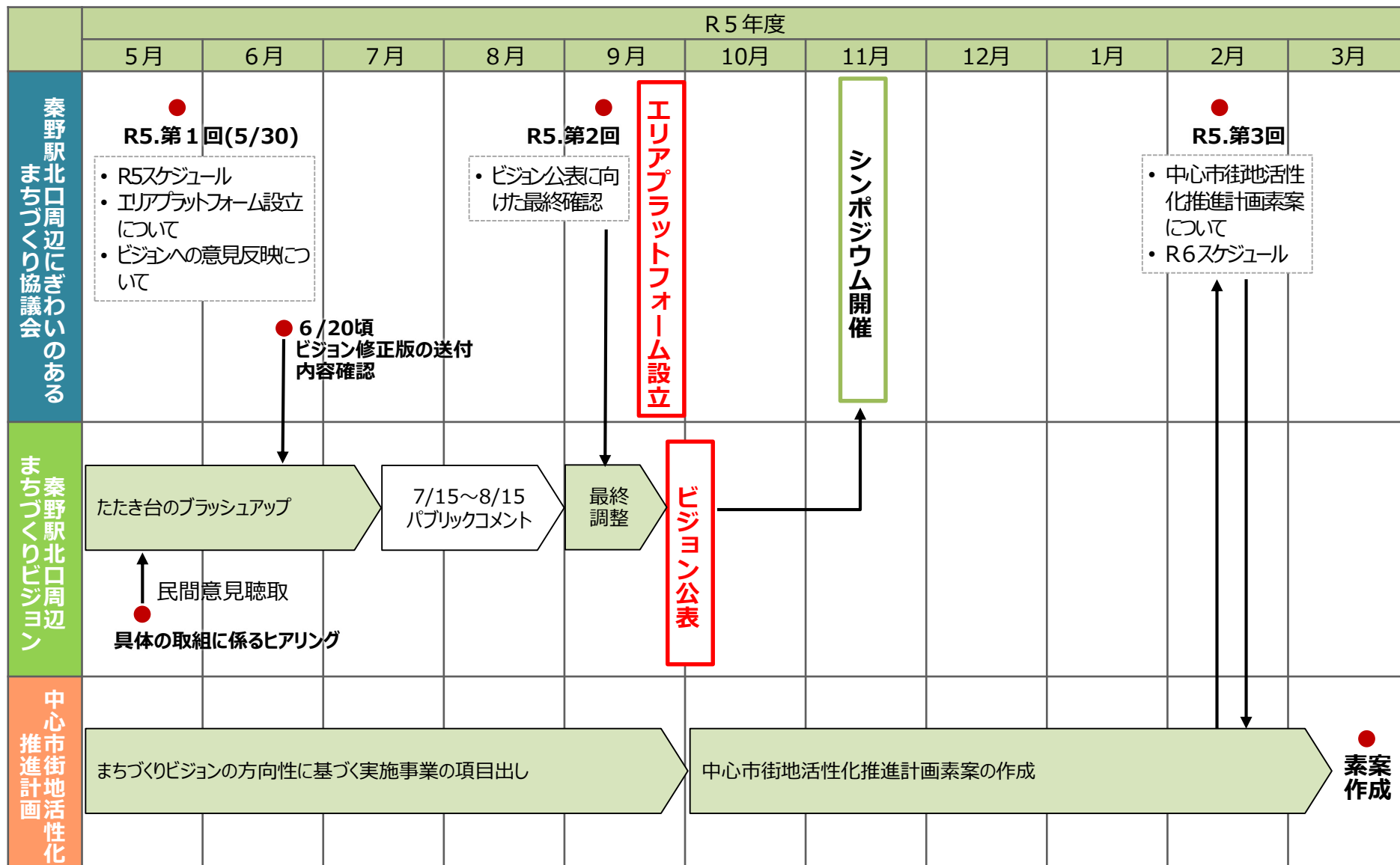
4. 令和5年度のスケジュールについて

(1) 中・長期的な取組の展開イメージについて



4. 令和5年度のスケジュールについて

(2) 令和5年度のスケジュールについて

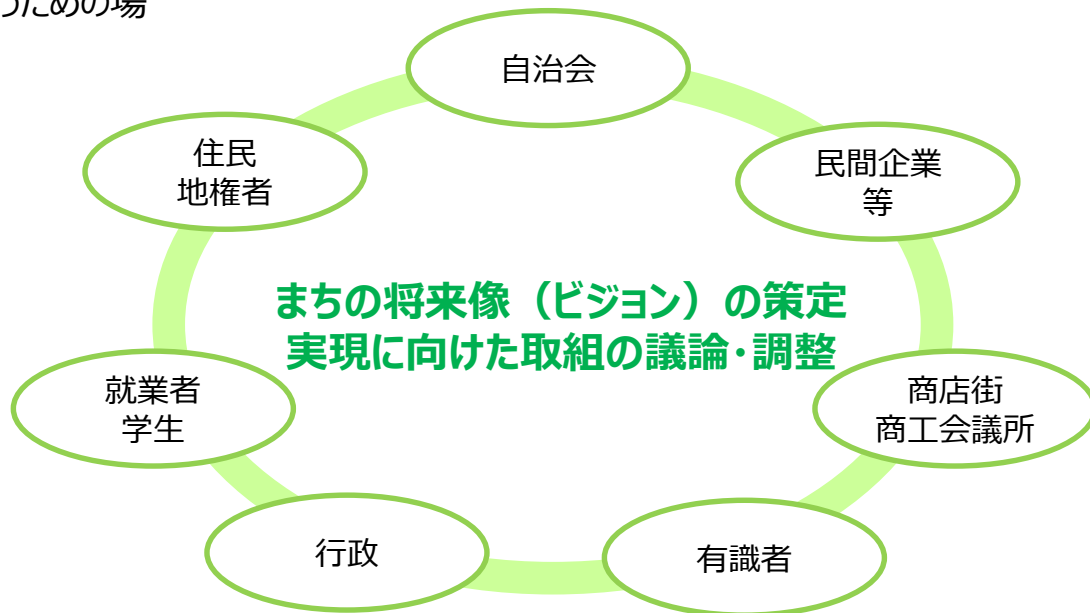


5. エリアプラットフォーム設立について

(1) エリアプラットフォームとは

エリアプラットフォームとは

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論し描き、その実現に向けた取組について協議・調整を行うための場



エリアプラットフォーム設立の効果

1. 様々な個別の活動を連携することで賑わい創出などの相乗効果が期待できる
2. 今まで接点がなかった“組織同士”や、“組織と個人”などのマッチングの場となり、多様なプレイヤー同士が連携して活動しやすくなる
3. エリアプラットフォームでまちの将来像（ビジョン）が示されていることで、組織・団体の有り無しによらず、公共空間（道路、公園等）でプレイヤーが活動しやすくなり、秦野駅北口全体の活動の底上げにつながる

5. エリアプラットフォーム設立について

(2) 秦野駅北口周辺エリアプラットフォームの目的・活動内容

目的

秦野駅北口周辺において、公と民が一体となり、ウォーカブルなまちなかの推進やにぎわい創出といったまちなかの魅力向上に関する事項を協議し、秦野駅北口周辺まちづくりビジョンの策定及びそれを実現する事業等の実施を通じて、秦野駅北口周辺の活性化と発展に寄与することを目的とする。

活動内容

- ① 「秦野駅北口周辺まちづくりビジョン」の策定・改定に関する事項
- ② ビジョンの実現に向けた調査、検討及び事業実施に関する事項
- ③ 秦野駅北口周辺のまちづくりに係る情報の発信・共有
- ④ その他前条に掲げる目的の達成のために必要な事項

6. 社会実験について

(1) 社会実験について

R4年度 懇話会・協議会での意見

地区の将来像
(目指すべき方向性)

駅前の便利さと秦野名水のある贅沢な“はだの・まちなか暮らし”
— 自分たちの手でまち（通り）の歴史・今を未来へつなぐ —

そのために必要なこと

はだのローカルを楽しみ発信する

はだの暮らし
×
発信する

“はだの”人
×
交流する

水無川の景観
×
楽しむ

まちなかの空間・建物に居場所をつくる

公共空間
×
憩う

空き地・空き家
×
使う

歴史的建造物
×
活かす

まずはできるところから始める（重点エリアである県道705号・水無川沿いの活用）

『県道705号沿いゾーン』の目指す将来のイメージ（案）

名水のまち“はだの”の中核となる拠点が形成され、地域の
人と“はだの”を訪れる人との様々な交流が生まれている

『水無川沿いゾーン』の目指す将来のイメージ（案）

川沿いに人のための空間が生み出され、人々が思い思い
に歩き、憩い、水のある居心地の良い空間を楽しんでいる

社会実験の目的

- ① エリアの将来像実現に向けた空間整備（ハード整備）の検証
- ② 自立した事業活動へと発展させるための担い手の育成（地域への愛着・誇りの醸成）

社会実験の企画

仮説・実施内容・効果検証方法等の検討

6. 社会実験について

(1) 社会実験について

県道705号沿いゾーン社会実験の目的等

『県道705号沿いゾーン』の目指す将来のイメージ（案）

- ・名水のまち“はだの”の中核となる拠点が形成され、地域の人と“はだの”を訪れる人との様々な交流が生まれている

『県道705号沿いゾーン』の社会実験における主な役割

- ・拠点としての機能と人々の交流の場となる空間の検証
- ・社会実験を通じ、自分ゴトとしてまちづくりに継続的に関わってもらうため仕組み・体制づくり

県道705号沿いゾーンの社会実験の目的

- ・将来のイメージの実現に向け、利用者とその使い方を想定しながら、通り沿いに求められている空間・機能（屋内外の空間の活用の方角性）の検証を行う
- ・課題や成果等を共有し、官民それぞれの役割分担や今後の進め方等について確認する

県道705号沿いゾーンの社会実験の仮説

①通り沿いに居心地の良い滞留空間を創出することで、周辺居住者や来街者等が利用し、様々なアクティビティや地域の交流が生まれるのではないかな。

②商業施設以外の機能を導入することで、多くの人に利用され、地域の交流や活動が促進されるのではないかな。

6. 社会実験について

(1) 社会実験について

県道705号沿いゾーン社会実験実施概要

実施日時（案）

- ・日程：令和5年7月12日(水)～16日(日)
- ・時間：10時～16時

①多世代交流の場づくり（屋内空間）

実施場所 2・3

- ・県道705号沿道の交流拠点に必要な機能を検証するため、多様な属性、幅広い世代の来場者を呼び込み、求められる空間・機能を検証する。

例：勉強スペース、子育てサロン、幼児体操や卓球等の室内アクティビティ、市民講座、ワークショップ、音楽、学生の発表の場等

②滞留空間の創出（屋外空間）

実施場所 1・4

- ・将来的な705号沿道の市有地の活用を想定し、人工芝、ベンチ・テーブル等を設置し、休憩・会話、飲食等のできる空間を創出する。
- ・滞留の促進、多様なアクティビティの創出を図るため、複数のコンテンツの導入を検討（子どもの遊び場としてプラレール・シャボン玉・チョーク絵描き等や大人も心地よく滞在可能な空間）

勉強スペースイメージ



アクティビティイメージ



滞留空間イメージ



子どもの遊び場イメージ



実施場所（案）



6. 社会実験について

(1) 社会実験について

県道705号沿いゾーン社会実験の効果検証

調査日時

- ・日程：令和5年7月12日(水)～16日(日)
- ・時間：10時～16時

調査手法と目的

調査手法	調査目的
滞留状況調査	・実施事業の利用者数や利用方法等を観察調査により把握する
パネルアンケート	・県道705号沿いや滞留空間に関するニーズや課題を把握する
アンケート	・聞き取りや参加者アンケートにより、来場手段（徒歩、自転車、車等）や属性、ニーズや課題を把握する ・運営側や周辺店舗等へのアンケートを実施し、課題や成果を把握する
人流調査	・令和4年度歩行者量調査結果を踏まえ、仮設した交流拠点を中心に周辺の人流の変化を把握する

令和4年度歩行者量調査実施場所



パネルアンケートイメージ



聞き取りアンケートイメージ

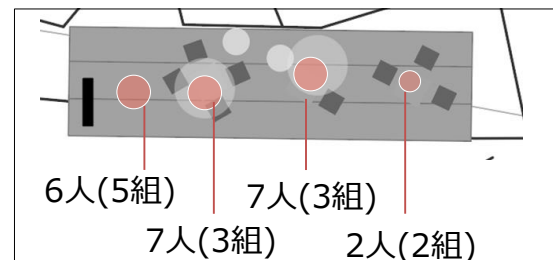
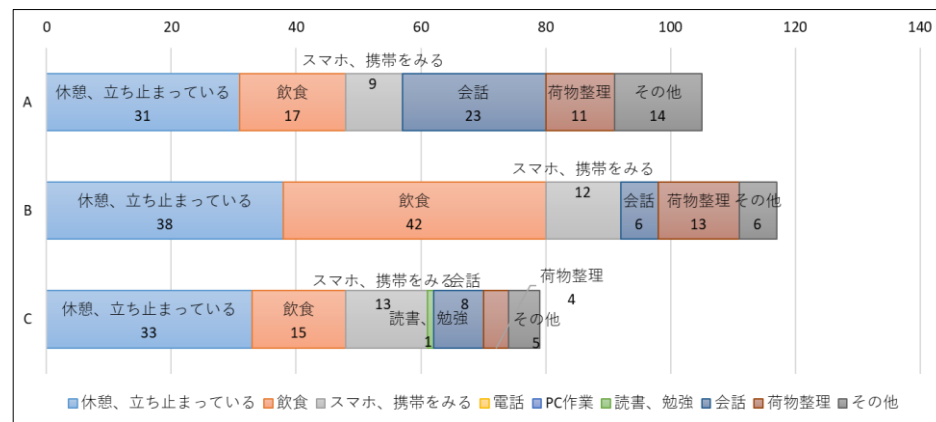


（１）社会実験について

滞留状況調査

調査結果例

いつ、どこで、何人が、なにをしているかを調査



6. 社会実験について

(1) 社会実験について

調査概要

パネルアンケート

社会実験実施中

皆様のご意見をお聞かせください

Q1：この空間の居心地の良さについて教えてください

良い	悪い	その他 (付箋にご記入ください)

Q2：将来的にこのような場所にあつたらいいと思うコト・モノを教えてください

くつろげる場所 (電車待ち、おしゃべりなど)	飲食できる場所 (持ち込み可)	仕事、勉強できる場所

Wifiが使える場所	子どもが遊べる場所	その他 (付箋に記入ください)

年代に沿った色をお使いください

シール	年代	シール	年代	シール	年代
○	小学生以下	●	中高生	●	18～24歳
●	25～39歳	●	40～64歳	●	65歳以上

調査結果例

年齢に応じた空間についての評価、ニーズを調査

社会実験実施中
皆様のご意見をお聞かせください

Q1：この空間の居心地の良さについて教えてください

良い	悪い	その他
○ 3件 ● 6件 ● 17件 ● 18件 ● 12件	● 1件	● 1件 ● 1件

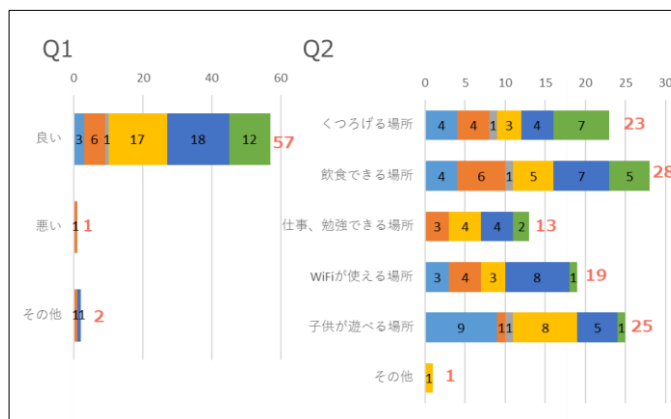
Q2：小躍駅前にあつたらいいと思う場所を教えてください

くつろげる場所	飲食できる場所	仕事、勉強できる場所
○ 4件 ● 3件 ● 4件 ● 6件 ● 1件 ● 7件	○ 4件 ● 5件 ● 6件 ● 7件 ● 1件 ● 5件	○ 0件 ● 4件 ● 3件 ● 4件 ● 0件 ● 2件

Wifiが使える場所	子どもが遊べる場所	その他
○ 3件 ● 3件 ● 4件 ● 7件 ● 0件 ● 1件	○ 9件 ● 8件 ● 1件 ● 5件 ● 1件 ● 1件	

年代に沿った色をお使いください

シール	年代	シール	年代	シール	年代
○	小学生以下	●	中高生	●	18～24歳
●	25～39歳	●	40～64歳	●	65歳以上



- 小学生以下
- 中高生
- 18～24歳
- 25～39歳
- 40～64歳
- 65歳以上

6. 社会実験について

(1) 社会実験について

調査概要

聞き取りアンケート

NO. _____	
県道 705 号沿道空間のあり方検討に向けた社会実験 アンケート	
調査日: ____年 ____月 ____日 時間: AM/PM ____時 ____分 担当者: _____	
性別: 男性 / 女性 年代: 小学生以下 / 中高生 / 18~24 歳 / 25~39 歳 / 40~64 歳 / 65 歳以上 場所: 屋外駐車場 / JA2 階 その他 ()	
Q 1. どちらから来ましたか (あてはまるものに○) 住所: 秦野市内 / 神奈川県内 (市町村:) / その他 (都道府県:)	
Q 2. どなたと来ましたか (あてはまるものに○) 家族 (子ども含む) / 家族 (子ども含まない) / 友達・パートナー / 仕事関係 / 一人 / その他 () (計 名)	
Q 3. この場所で過ごしている理由を教えてください (あてはまるものに○) 駅から近い / 雨風を防げる / 日差しを防げる / 飲食ができる / 座りやすい / その他 ()	
Q 4. 本日は、まちのどこを回りましたか、または回る予定か教えてください () → () → <u>現在地</u> → () → ()	
Q 5. このような場所をつくる立地の評価を教えてください (あてはまるものに○) 駅前広場がいい / 水無川がいい / 水無川沿いの空き地がいい / 705 号の駅よりの場所がいい	
Q 6. 空間の評価を教えてください (あてはまるものに○) ・広さ: 広すぎる / ちょうどよい / 狭すぎる ・場所: 良い / 悪い / どちらでもない 理由 (ex: 普段よく通る道だから、駅から近い)	
・この場所の使い方: 良い / 悪い / どちらでもない 理由 (ex: 休憩できるイスが良い、飲食できるのが良い、あまり時間をつぶせるものがない)	
他にあったらより過ごしやすくなるもの (ex: 地域情報を得たい、飲み物を購入したい)	

NO. _____	
・この場所への改善点 自由回答 (ex: もう少し日影がほしい)	
Q 6. 空間を利用している目的を教えてください (あてはまるものに○) 電車、バス待ち / 子どもを遊ばせる / 休憩 / 会話 / 飲食 / 勉強、仕事 / アクティビティ (ヨガなど) / その他 ()	
Q 7. 普段はどこでどのように過ごしていますか 駅で待っている / 学校・会社でまわっている / 飲食店を利用している / こども館を利用している / その他の公共施設を利用している (名称:) / その他 ()	
Q 8. 今後、このような滞留できる空間は必要だと思いますか (あてはまるものに○) 必要 / 不要 / その他 理由 (ex: 居心地がよくなったから、飲食できるものを食べたから)	
Q 9. 駅からこの場所までの間での魅力や、問題点を教えてください (あてはまる方に○) ・安全・安心に通行・利用 できる / できない ・行きたい場所・お店が ある / ない ・子どもと過ごす場所が ある / ない ・駅周辺の施設やお店の情報が わかりやすい / わかりにくい ・景観が 良い / 悪い ・その他印象 ()	
Q 10. 将来的に 705 号沿いにあつたらよい空間・モノ、この場所でやりたいことを教えてください (ex: 飲食できるものが買えて滞在できる場所、子どもと一緒に過ごせる場所、マンション)	

6. 社会実験について

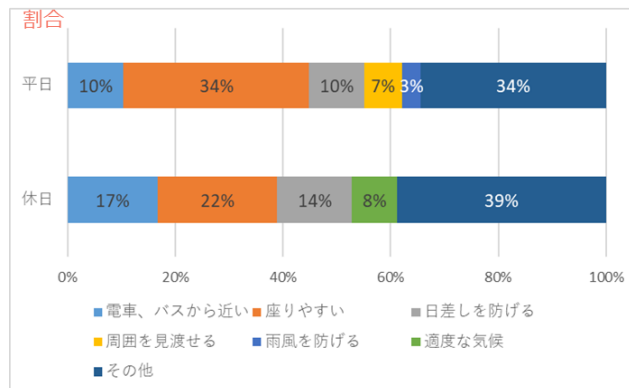
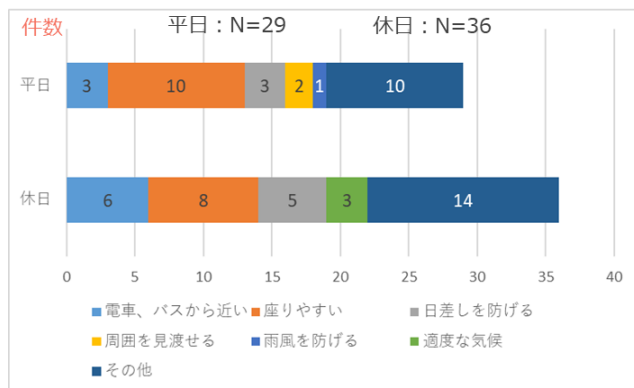
(1) 社会実験について

調査概要

調査結果例

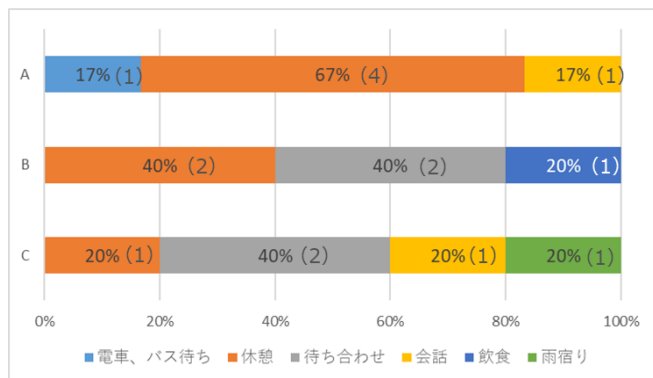
パネルアンケートの深堀調査として、属性に応じたニーズや課題等を調査

Q3. この場所で過ごしている理由を教えてください（あてはまるものに○）

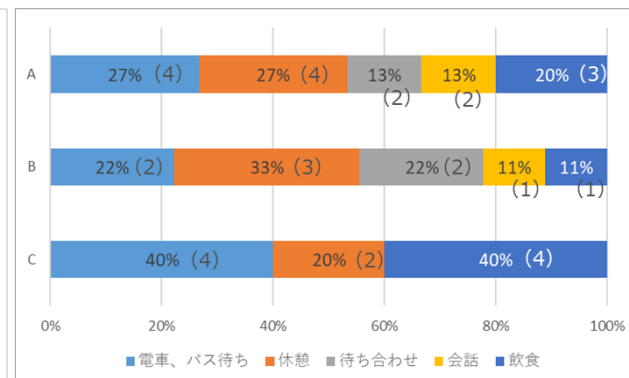


Q6. 空間を利用している目的を教えてください（あてはまるものに○）

【平日】



【休日】



令和5年度 実施フロー

